

原子力防災訓練を実施

県と本市を含む関係市町は合同で、東北電力女川原子力発電所で事故が発生した場合に備え、1月27日に原子力防災訓練を実施しました。訓練は、女川原発から30⁺圏内の7市町(登米市、石巻市、東松島市、女川町、南三陸町、美里町、涌谷町)が対象。本市の登米総合体育館で実施された住民避難訓練には、女川原発から30⁺圏内にある本市の豊里、津山地区をはじめ関係市町から約200人が参加しました。



主会場となった登米総合体育館の屋内。大勢の報道関係者ら(右側)が訓練の様子を注視しました



関係市町の避難住民は、バスで登米総合体育館に避難しました

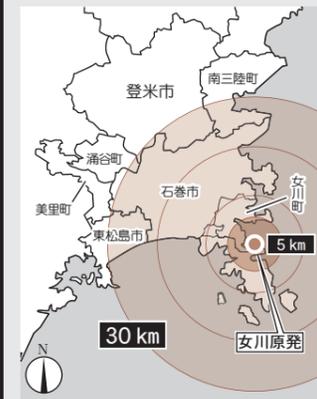


気温が低い中での訓練。市婦人防火クラブ登米支部による炊き出しが、参加者の体と心を暖めました

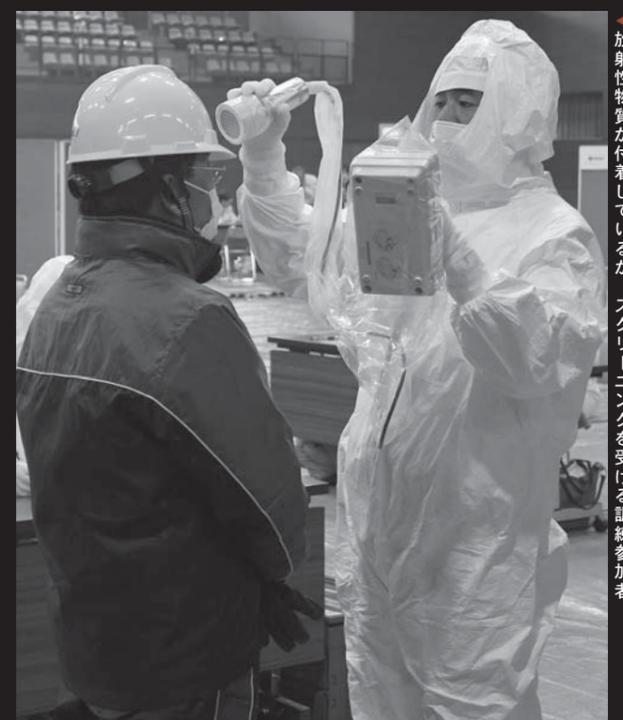
原子力防災訓練

訓練は、宮城県沖で地震が起き、東北電力女川原子力発電所(女川町、石巻市)の3号機から放射性物質が外部に漏れ出した、との想定で実施されました。県や原発周辺の7市町、警察や自衛隊を含む63機関が参加。屋内退避訓練や避難住民の放射性物質の検査(スクリーニング)、車の除染などの訓練が行われました。市内では、防災行政無線や消防車両による広報や携帯電話への緊急速報メールの配信が行われました。

■女川原発から半径30⁺圏



避難所の開設訓練。市福祉事務所職員が、訓練参加者(避難者の状況聞き取りと避難所案内を行いました)



放射性物質が附着しているか、スクリーニングを受ける訓練参加者



市役所庁舎では、布施孝尚市長ら本市災害対策本部のメンバーが参加し、国や県、関係市町とのテレビ会議で情報の共有を図りました

声

もっと多くの人が訓練に参加できれば



守屋 博 さん (豊里町新町)

今までは放射能の知識がほとんどなかったため、放射性物質の検査や除染の仕方、予防措置など、訓練を通じて気付くことがたくさんありました。もっと多くの人がこのような訓練に参加できればよいと感じました。

原発事故は心配 訓練は勉強になった



小橋 三男 さん (津山町小川町)

津山町は女川原発から30⁺圏内にあるので、事故のことは心配しています。今回このような訓練に初めて参加して、とても勉強になりました。放射性物質を体内に取り込まないための安定ヨウ素剤の働きの話はよく分かりました。